



三重大学ユネスコスクール 研修会/シンポジウム2011

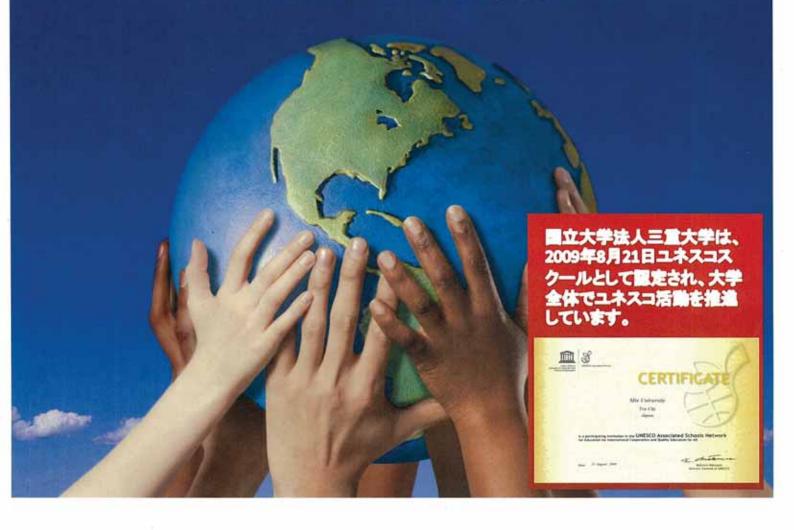
日時:平成23年12月10日(土)

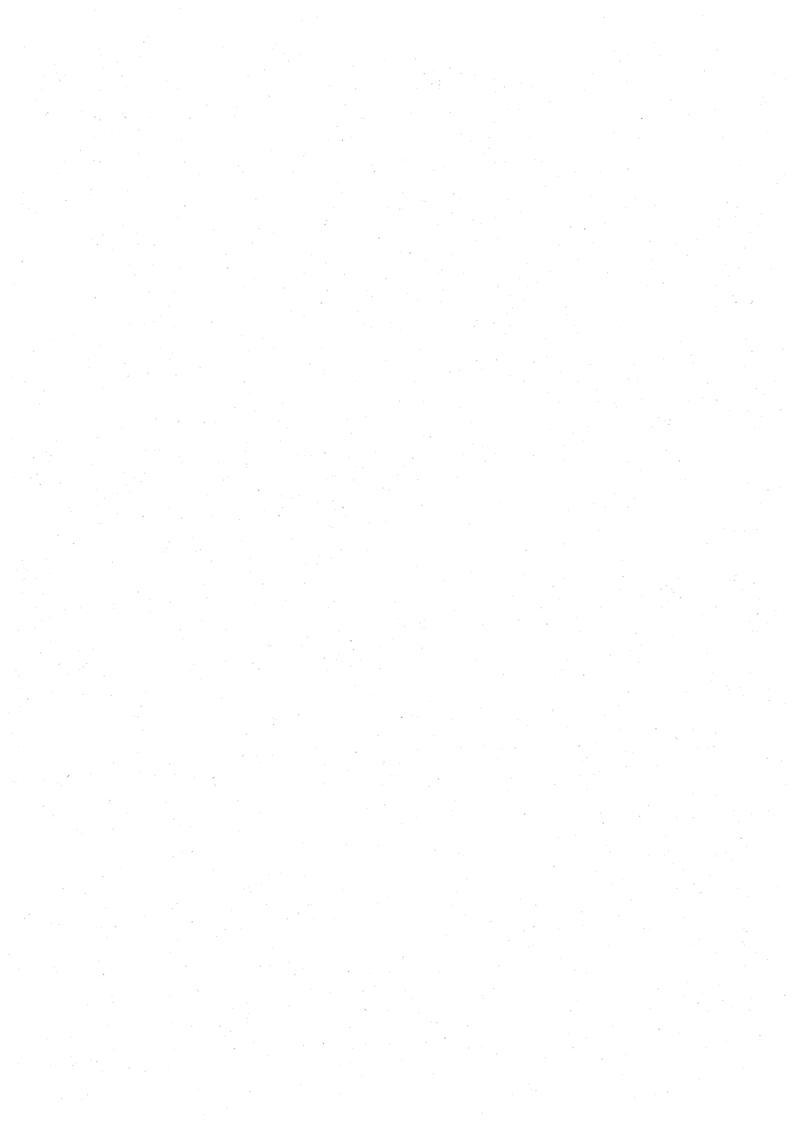
11:00~12:00 (関係者連絡会議)

13:00~17:00 (一般公開)

会場:国立大学法人三重大学

メディアホール(総合研究棟 II 1F)









東交流センター開業を

第5回 三重大学国際交流週間2011

5th International Week at Mie University 2011

December 10 (Sat) ~ 21 (Wed), 2011

Get More Information in the Posters & CIER Web!

教職員・学生・一般市民の皆様の ご参加お待ちしています。

詳しくはイベント別ポスター& 国際交流センターWEBで!!

Exchange party, CIER, Mie University

We are the Ones Who Make a Brighter Day!

Imagine All the People Sharing All the World!

140			
12/10	10:00~	英語スピーチコンテスト	メディアホール
(Sat)	12:00	English Speech Contest	Media Hall
12/10	13:00~	三重大学ユネスコスクール研修会/シンポジウム2011	メディアホール
(Sat)	17:00	UNESCO Associated School Symposium 2011	Media Hall
12/11	10:30~	国際理解セミナー	アスト津
(Sun)	12:30	Seminar for International Understanding	AST Tsu
12/12	14:30~	シンポジウム「ミス三重人形と日米交流」	メディアホール
(Mon)	16:50	Symposium "Miss Mie Doll"	Media Hall
12/14	16:00~	日本語スピーチ・スキットコンテスト	メディアホール
(Wed)	18:00	Japanese Speech & Skit Contest	Media Hall
12/15	16:30~	Tri-U IJSS 2011・キャリアアッププログラム報告会	่ メデ ィアホール
(Thu)	18:30	Debriefing Session for CIER Programs	Media Hall
12/16 (Fri)	16:30~ 18:00	モルドバを知ろう! Let's Learn about the Country of "Moldova!"	共通教育3号館 ラーニング [*] コモンズ [*] Learning Commons
12/17	13:00~	三重大学グローバル人財育成シンポジウム	講堂小木ール
(Sat)	17:00	Symposium for Forming Global Human Resources	Sunsui Hall
12/19	16:30~	内閣府青年国際交流事業説明会	メデ ィアホール
(Mon)	18:00	International Youth Exchange Program	Media Hall
12/19	18:00~	JICAボランティアセミナー	メディアホール
(Mon)	19:30	JICA Volunteers Seminar	Media Hall
12/21	15:00~	外国語のど自慢大会	メディアホール
(Wed)	17:00	Singing Contest	Media Hall
12/21	17:40~	国際交流パーティー(本学留学生対象)	講堂小木-ル
(Wed)	19:50	International Exchange Party for Int'l Students	Sunsui Hall
12/10(Sat)~ 21(Wed)		写真コンテスト Photo Contest	総合研究棟 II 1F 叱゚- Lobby at 1F, Research Hall II
12/12(Mo 12:00-		留学生出身国フェア&エスニック料理フェア Countries & Food Fair	第1食堂 1F & 2F, Cafeteria 1

学生実行委員 募集中!!

Volunteers Wanted!

When the World Must Come Together as One!

Contact:国際交流センター CIER (Ms. Takahashi & Ms. Tomimoto) 059-231-5391(Internal:6953) international@ab.mie-u.ac.jp











第5回 三重大学国際交流週間2011

5th International Week at Mie University 2011 2011年12月10日(土)~21日(水)



平成23年度 日本/ユネスコパートナーシップ事業

三重大学ユネスコスクール 研修会/シンポジウム2011

ユネスコスクールとは

ユネスコスクールは、1953年、ASPnet (Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。設立された当時、15加盟国33機関であった加盟校は、現在180か国以上の国・地域で約9,000校に増加しています。日本からは、2011年7月現在、308校の幼稚園、小・中高等学校及び大学が加盟しています。三重県では三重大学の他に鈴鹿市内の5校の小中学校が加盟、今後も加盟校が増加するよう積極的に支援をしていきます。

日時: 平成23年12月10日(土)

11:00~12:00 (関係者連絡会議) 13:00~17:00 (一般公開)

会場:国立大学法人三重大学 メディアホール(総合研究棟Ⅱ1F)

三重県津市栗真町屋町1577 http://www.mie-u.ac.jp

対象:一般小中高校教員、教育行政関係者、教育研究関係者(大学、研究所等)、保護者、ユネスコ関係者、企業関係者、学生、その他ユネスコ活動に関心のある方

国立大学技人三重大学は、2009年8月21日 ユネスコスクールとして設定され、大学金体 でユネスコ活動を推進しています。



プログラム

11:00-12:00 (関係者のみ)	中部·東海地区 ASPUnivNet 加盟大 学等会合	「ASPUnivNet の活性化に向けて」 開会あいさつ 三重大学長 内田 淳正
13:00-13:30	三重大学の「ユネス コスクール活動」につ いて	三重大学理事·副学長(環境·国際担当) 朴 恵淑
13:30-14:30	基調講演	文部科学省大臣官房国際課 国際協力政策室長 浅井 孝司氏 「ESDとユネスコスクールの 活用について」 宮城教育大学 理事・副学長 見上 一幸氏 「学校教育におけるユネスコスクール 加盟の利点 ~持続発展教育と大学の支援~」
14:30-15:10 15:10-15:30 15:30-16:30	三重大学 ユネスコスクール 学生委員会活動報告 休憩 事例報告	環境教育(環境ISO学生委員会) 日本語サポート教育 (日本語サークル「寺子屋」) 世界遺産(熊野古道)活動 (三重大学ユネスコクラブ) 未来遺産活動 (デジタルストーリーテリング) 石川県金沢市戸板小学校 校長 中川隆博氏 鈴鹿市教育委員会
16:30-17:00	質疑応答	指導課課長 鈴木 英文氏 三重大学教育学部附属中学校 教頭 前田 豊美氏

主催:文部科学省/日本ユネスコ国内委員会/国立大学法人三重大学

【お問い合わせ先】 国立大学法人三重大学 国際交流センター 担当:国際交流コーディネーター(高橋・富本) Tel:059-231-5391 international@ab.mie-u.ac.jp



第5回 三重大学国際交流週間2011

5th International Week at Mie University 2011 2011年12月10日(土)~21日(水)

三重大学 グローバル人財育成シンポジウム

各界で、もはやグローバル化が避けられない状況にあり、時を逃さず確実な対応が求められている現在、国際的事業の拡充による国際競争力の向上を図る上では、中核となる人財をより系統的に養成する必要があると考えられます。 国際センスとバランス感覚に優れた人財の育成に向けて取り組むべき課題について、各界の識者により、真の国際人

日時:平成23年12月17日(土)

開会13:00(受付12:30~)閉会17:00

三重大学アジアモデル(MAM)構築に向けて

入場無料(定員300名)

会場:三重大学講堂 小ホール

三重県津市栗真町屋町1577 http://www.mie-u.ac.jp



プログラム

の養成を目指した国際連携、産官学地域の連携に関してディスカッションを行います。

12:30~13:00	受付	A GENERAL
13:00~13:10	挨拶	三重大学長 内田 淳正
13:10~13:30	三重大学における グローバル人財育 成への取組み	三重大学理事・副学長(環境・国際担当) 朴 恵淑 「翠の日中韓・日タイのダブルトライアングルネット ワークによるアジア環境スペシャリスト育成事業」
13:30~14:30	基調講演	駐名古屋大韓民国総領事館 李 均東総領事 「大韓民国におけるグローバル人財の取組」 株式会社 東芝 人事部長 金井 淳氏 「企業におけるグローバル人財の取組」
14:45~17:00	パネル ディスカッション	駐名古屋大韓民国総領事館 李 均東総領事 中華人民共和国駐名古屋総領事館 教育·文化担当領事 黄 菊花領事 三重県 副知事 安田敏春氏 文部科学省 大臣官房国際課長 池原 充洋氏 株式会社 東芝 人事部長 金井 淳氏 三重大学長 内田 淳正

三重大学は質の高い国際交流を目指し、海外の交流協定校との学生の相互派遣・受入や 国際共同研究を行っています。三重大学は、「三重の力を世界へ:地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す~人と自然の調和・共生の中で~」を基本的目標として掲げ、地域及び地球規模の自然環境と人間活動の調和に取り組み、持続可能な地域・地球社会を引き継ぐ人財育成を行うことで大学の社会的責任(USR; University Social Responsibility)を果たしています。

主催:国立大学法人三重大学

後援:文部科学省/環境省/三重県/中華人民共和国駐名古屋総領事館/駐名古屋大韓民国総領事館/三重テレビ放送/株式会社ZTV 三重エフエム放送株式会社/朝日新聞社/伊勢新聞社/中日新聞社/日本経済新聞社津支局/毎日新聞社/読売新聞社

【お問い合わせ先】

国立大学法人三重大学 国際交流センター 担当:国際交流コーディネーター(高橋・冨本) Tel: 059-231-5391 <u>international@ab.mie-u.ac.jp</u>





三重大学ユネスコスクール研修会/シンポジウム2011

日時:平成23年12月10日(土) 11:00~12:00 (関係者連絡会議)

13:00~17:00 (一般公開)

会場:国立大学法人三重大学 メディアホール(総合研究棟Ⅱ1F)

中部·東海地区ASPUnivNet 加盟大学等会合(11:00-12:00)

「ASPUnivNet の活性化に向けて」

- ○「ESDとユネスコスクールの活用について」 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長 浅井 孝司氏
- 「学校教育におけるユネスコスクール加盟の利点~持続発展教育と大学の支援~」 宮城教育大学 理事・副学長 見上 一幸氏
- ○「ユネスコ・アジア文化センターの取り組み ~ユネスコスクール加盟申請におけるASPUnivNetとの連携~」 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 事務局長 島津 正數氏

三重大学の「ユネスコスクール活動」について(13:00-13:30)

○ 世界一環境先進大学三重大学のユネスコスクール戦略・活動 三重大学理事・副学長(環境・国際担当) 朴 恵淑

基調講演(13:30-14:30)

- ○「ESDとユネスコスクールの活用について」 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長 浅井 孝司氏
- ○「学校教育におけるユネスコスクール加盟の利点~持続発展教育と大学の支援~」 宮城教育大学 理事・副学長 見上 一幸氏

三重大学ユネスコスクール学生委員会活動報告(14:30-15:10)

- 世界遺産(熊野古道)活動「世界遺産・熊野古道に関する活動」 三重大学ユネスコクラブ 鈴木 里歩、平野 真由
- 日本語サポート教育 「活動紹介」 日本語学習サポートサークル「てらこや」 塩地 弘和、桃井 万里子
- 未来遺産活動 「アジアにおける未来遺産デジタルストーリーテリングプロジェクト」 デジタルストーリーテリング須曽野研究室 王 雅儒、劉 蒂
- 環境教育「三重大学環境ISO学生委員会の活動紹介」 環境ISO学生委員会 中村 浩俊

事例報告(15:30-16:30)

- 「戸板小学校におけるユネスコスクールの取組」 石川県金沢市戸板小学校 校長 中川 隆博氏
- ○「鈴鹿市におけるユネスコスクールの活動について」 鈴鹿市教育委員会事務局指導課長 鈴木 英文氏
- ○「ユネスコスクールに参加するに当たって」 三重大学教育学部附属中学校 教頭 前田 豊美氏

中部·東海地区 ASPUnivNet 加盟大学等会合

「ASPUnivNet の活性化に向けて」



ユネスコスクール加盟申請における ASPUnivNet との連携

ユネスコ・アジア文化センターの取り組み

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) 事務局長 島津 正數 2011.12.10

於 三重大学

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、ユネスコスクール事務局として次の業務を行っています。

ユネスコスクール加盟申請の 相談、支援、窓口

ご質問、ご相談、申請サポートを行ってい ユネスコスクールの加盟申請に関わる

ュネスコスクールに加盟したいけど、どう すれば??という時、お気軽にお問い合 **ち** セクださい。

ユネスコスクール公式 ウェブサイトの運営

ト、教材やイベント情報を発信しています ユネスコスクールの概要、加盟するメリッ ュネスコスクールに加盟すると、学校の イベント情報などをウェブサイト上にアッ プすることができます。

<http://www.unesco-school.jp>

ESDの普及促進

ESDを推進している教職員の発表の場と ■ユネスコスクール地域交流会の開催 交流の機会を作り、各地域

間内および地域間のネット ワーク強化をはかります。 ■『ひろがりつながる

ESD実践事例48』

■『ESD教材活用ガイド』



<環境教育・外国語教育> ●環境教育パッケージ教材 PLANET

自然環境と私たちの暮らし、地域での協力、 問題解決に取り組むことを学びませんか? ミナとその家族が主人公の環境教育教材。アニメ、小冊子、ポスター、指導者ガイドで構 成されています。『村と川』『村と森』『い路動』『防災村づくり』で、ミナたちと一緒に、 英語の授業で使える英語版もあります。 ●ESDフォトキャラバン「明日への手紙」 <国際理解教育・世界遺産教育>

ACCUの国際教育協力のなかで制作された外国語教材は、日本の学校教育でも活用 ●67言語、665点の教材 <環境教育・国際理解教育・国際協力> できる多種多様なものが揃っています。

●講演者の派遣

先生方の研修や生徒向けに、ESDの理解を深めるための講演会に講演者を派遣します。



● ACCU Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO

公益財団法人

ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 東京都新宿区袋町6 日本出版会館内

03-3269-4435(代表) 03-3269-4510 FAX

E-MAIL esd@accu.or.jp

http://www.accu.or.jp



ユネスコスクール加盟方法 . ග

加盟資格

- ・ 就学前教育・小学校・中学校・高等学校・技術学校・職業学校、教員養成機関 は、国公私立を問わずユネスコスクールに加盟することができます。
- コネスコの理念に沿った取組を継続的に実施していることが必要です。

- 法的拘束・義務などはありませんが、各学校の積極的な活動が求められます。
- 年に一度、日本ユネスコ国内委員会に報告書の提出が必要です。
- コネスコが提案する教材が送られ、教育現場での実験・評価を依頼されること
- コネスコやその関係機関・団体が行う様々な活動に参加する機会があります。

中調力法

- 承認来での流れは次ページのとおりです。 加盟申請から、
- 必要書類

加盟申請禮(様式・日本語および英語)

コネスコスクール事務局(下記参照)へ請求もしくは コネスコスクールホームページより申し込み手続きをお願いします。 学校の概要が分かる資料(既存のパンフレット等・日本語および英語)

お問い合わせ先

ユネスコスクール事務局

〒162-8484 東京都新宿区袋町6(日本出版会館内) 財団法人ユネスコ・アシア文化センター (ACCU) ※注1 TEL: 03-3269-4496 FAX: 03-3269-4510 =-mail: webmaster@accu.or.jp ※注1:「平成23年度日本/コネスコパートナーシップ事業」においてコネスコスクール事務局業務を委託

ユネスコスクールホームページ:http://www.unesco-school.jp/





国立の学校※注2

都道府県及び

市町村立学校※注2 ****************

の場合

私立学校※注2

各種学校

その他学校の場合 教員養成大学等

コネスコスクール事務局から申請書様式を受領(コネスコスクールホームページからも ・ DAOの子続らどり貼り、 てりば、必要事項と記く コネスコスク・ 申諸警の記載内容を確認をしますので、申請書祭(日本語、英語)が完成しましたら、コネスコスク・ ル事務局までご連絡願います。申請魯の魯き方など、ASPUnivNetでも相談を受け付けております。 その後、必要事項を記入 の場合 申し込み手続きが可能) 政令指定都市立 の学校※注2の場合

コネスコスクール事務局で英語での申請署、学校概要の作成などの支援が可能な場合があります。 申請書(学校長のサインを記入)、学校概要資料パンフレット等)(※英語)を準備

市町村教育委員会へ提出

都道府県(政令指定都市)教育委員会へ提出

都道府県知事部局へ提出

日本コネスコ国内委員会事務局へ提出

日本ユネスコ国内委員会事務総長(文部科学省国際統括官)よりユネスコ本部へ提出※注3 在中间的有效,这个人,我们也是不是有的,我们也是有的,我们也是我们的人,我们也没有一个人,我们也没有一个人,我们也没有一个人,我们也没有一个人,我们也没有一个人, 加盟承認書がユネスコ本部より日本ユネスコ国内委員会事務総長宛に送付 日本ユネスコ国内委員会事務局より各教育委員会・知事部局 各教育委員会・知事部局より各学校へ へ加盟承認醫を送付。

日本ユネスコ国内委員 会事務局より各学校へ 加盟承認書を送付 加盟承認書を送付。 ※注2:学校二小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等專門学校、特別支援学校、幼稚園を指します。 ※注3: ユネスコ本部での手続きに3ヶ月~半年かかることがあります。

<u>@</u>

ユネスコスクール公式ウェブサイト 月毎の訪問者数

(Vists)

ပ ပ

Total Visits

(年月)

2009

Total Visits

				-					7
				~				2011	6 7 8 9 1011
						•		5	ro
						<i>></i>	. :		
					•				က
					ار	>			2
									-
			*						12
					t				=
				. '	•				=
						•			6 6
								•	2
								~ ;	9
							•		2
									4
							_>	2010	က
								12	2
					~				-
								•	12
								7	0.1
								Ι	0
								1	· ∞
								•	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4
								}	9
								4	ى ا
							-		4
_	+-							500 2009	က
	4,000	3,500	3,000	2,500	2,000	1,500	1,000	88	0
4,500	8	\simeq	\simeq	100	_	150	\equiv	100	

2,143 1,800 689 1,180

2 8 4

2010

9

œ

(年·月)

52,058

∞ o 6 ±

2,259 2,949 2,949 1,795 1,323 1,323 2,028 2,376 2,664 2,664 2,691 2,710

700

1,589

∞ | 19 | ∞

9

12

2011

က

4





持続発展教育(ESD)と ユネスコスクールの活用について

ユネスコスケール研修会 in 三重大学 2011年12月10日

文部科学省大臣官房団際課国際協力政策定長(日本-1ネスコ国内委員会事務局次長)



- ♦ 持続発展教育(ESD)について
- ◆ ESDに関する我が国の取組
- ユネスコスクールとは
- ◆ 今後の展開

O X 8 N 7 8

持続発展教育 (ESD)について

Sustainable Development (持続可能な発展)とは…

「将来の世代が自らのニーズを充足する能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすこと」

- ※ 国連「環境と開発に関する世界委員会(ブルントラント委員会)」 報告書『我ら共通の未来(Our Common Future)』(1987年) における定義
- + 次世代が自分たちと少なくとも同じような生活ができる環境を残す

持続発展教育(ESD) とは・・・

「持続可能な社会の担い手を育む教育」

⇒ 持続可能な社会を構築するための人づくり

ESDで育む生きる力

- 人格の発達や自律心、判断力、責任感などの 人間性を育む
- ・他人との関係性、社会との関係性、自然環境 との関係性を認識し、「つながり」を尊重できる 個人を育む

1 1

自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、 よりよく問題を解決する資質や能力を養う (質が第次部科学事務会を選縮より)

○ 文图科学者 2000年 200

国立教育政策研究所 学校における持続可能な発展のための教育(ESD)に関する研究 [ESDの視点に立った学習指導の目標] 教科等の学習活動を進める中で、 「持練可能な社会づくりにかかわる課題を見いだし、 それらを解決するために必要な能力・態度を身に付ける」ことを通して、 持続可能な社会のお成者として ふさわしい資質や価値観を養う。 [特徴可能な社会がりの要素] ① 和互性 ② 条様性 ② 条様性 ② 条様性 ③ 有限性 ③ 自民性 ⑤ 直接性 ⑥ 加爾性 ② 公平性 ⑥ 直性 ⑥ 加爾性 ⑥ 加爾性 ② 公平性 ⑥ 方性性 ⑥ 加爾性 ⑥ 加藤を持加して計画を立てる力 ⑥ 多層的、混合的に考える力 ⑥ 多層的、混合的に考える力 ⑥ 多層的、混合的に考える力 ⑥ 分析のに表える力 ⑥ 大部に関係する危度 ⑥ つながりを原度する危度 ⑦ 責任を受んじる患度 ◆関係的第2938時 http://www.nier.go.jp/kaihstsu/pdf/esd_chuukan.pdf 5

世界遺産学習はなぜESDに繋がるのか

- 1. つながりを尊重する態度(時間的及び地理的)
- 2. 未来像を予測して計画する力

(遺産を引き継いでいく)

- 3. 他者と協力する態度(遺産は人類共通のもの)
- 4. 多面的、総合的に考える力

(遺産そのものの価値だけでなく、当時の生活や 社会をも考える)

- ESDに関する我が国の取組
- コネスコスクール
- 全後の無傷

○ 又即科子省

ESDに関する文部科学省の取組 (1/4)

日本ユネスコ国内委員会

- 2003年「国連持続可能な開発のための教育の10年」に関してユネスコ が確定する国際実施計画への提言
- » 2007年「持続可能な開発のための教育の10年」の更なる推進に向けた ユネスコへの提賞
- → 同年第34回ユネスコ総会でESD推進のための決勝へ
- » 2008年 持続発展教育(ESD)の普及促進のためのユネスコスクール活 用について(提言)

※ 2008年までESDは「持練可能な開発のための教育」を多用してきた が、より一層の普及のため、「持続発展教育」と改め

ESDに関する我が国の取組

- > 2005年 内閣官房に関係省庁連絡会を設置
- > 2006年 DESD図内実施計画を策定

基本的考え方(国内実施計画)

ESDは、持続可能な社会づくりの担い手となるよう個々人を育成する教育。

- 人格の発達や、自律心、判断力、責任所などの人間性を容むこと。
- 個々人が他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性の中で生きて おり、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと。



ESDに関する文部科学省の取組 (2/4)

「持続発展教育(ESD)の普及促進のためのユネスコ スクール活用について(提言)」

- ◆ ユネスコスクール参加のメリット
 - -ユネスコスクールへの支援の充実
 - ・事務局機能の強化による支援体制の充実
- ◆ わかりやすい登録システム
- ◆ 活動資金等の充実

10

ESDに関する文部科学省の取組(3/4) 学習指導要領の改訂 (2008年3月公示)

> 中央教育審議会答申「学習指導要領等の改善について」 (2008年1月)

「持続可能な発展」、「持続可能な社会の構築」が求められて いる状況に鑑みた改善の実施

- 一教科等を横断して改善(環境教育、ものづくり教育)
- ー各教科・科目等の内容の改善(社会、地理歴史、公民、理 科、技術·家庭)等
- > 新学習指導要領 (2008年3月、2009年3月)

小学校学習指導要領の総則や理科、社会、中学校学習指導 要領の理科、公民、地理、高校学習指導要領の地理歴史、公民 などに持続可能な社会の構築の観点が盛り込まれている※

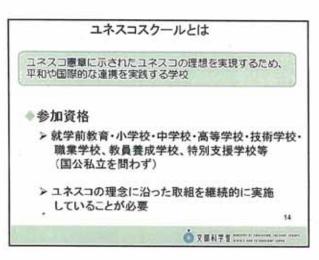
※ユネスコスクールHP参照(http://www.unesco-school.jp/?page_id=637) 11

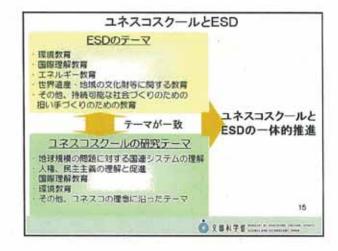
ESDに関する文部科学省の取組 (4/4)

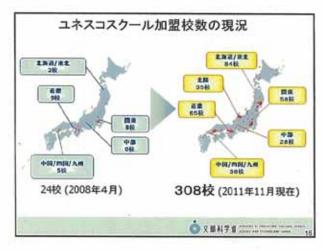
教育振興基本計画の策定(2008年7月)

- » 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策 いつでもどこでも学べる環境をつくる
 - 持続可能な社会の構築に向けた教育に関する取組の推進
 - 一人一人が地球上の資源・エネルギーの有限性や環境破壊、 貧困問題等自らの問題として認識し、将来にわたって安 心して 生活できる持続可能な社会の実現に向けて取り組むための教育 (ESD)の重要性について、広く啓発活動を行う・・・。
 - 特に、ESDを主導するユネスコの世界的な学校ネットワークで あるユネスコスクール加盟校の増加を目指し、支援する。

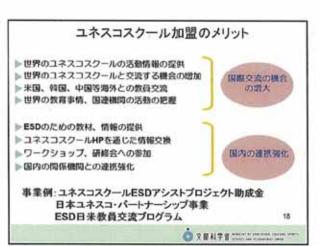










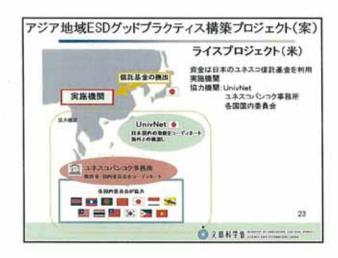










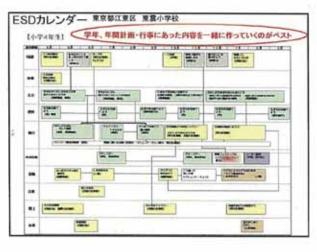


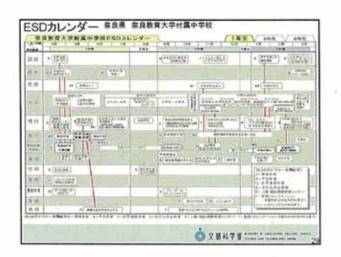














ユネスコスクール研修会/シンポジウム in 三重大学 2011.12.10.

学校教育における ユネスコスクール加盟の利点

~持続発展教育と大学の支援~

宮城教育大学 見上一幸

今、なぜユネスコスクールか

気候変動、自然災害と防災(減災)教育、経済活動、 食の安全、食糧問題、ガバナンス、・・・・

持続可能性

ESDで"育みたいカ"としては、

- (1)体系的な思考力、
- (2)持続可能な発展に関する価値観を見出す力、
- (3)代替案の思考力(批判力)、
- (4)情報収集·分析能力、
- (5)コミュニケーション能力があげられている。

www.mext.go.jp/unesco/004/005.htm



ユネスコスクールの活動4つの分野・課題

地球規模の問題に対する国連システムの理解

(貧困、飢餓、失業、エイズ、環境汚染、気候変勢、課字、文化、ジェンダー、 児童就労など、国連やユネスコの優先分野に関連する活動)

人権、民主主義の理解と促進

(人種差別、偏見、民主主義、相互の尊重、市民の責任、寛容と非暴力紛争 等、人権に関連する問題)

異文化理解

(異なる習慣・伝統・価値観に対する理解、他文化への理解や聴意、自分たち自身の文化的背景・独自性の再確認、地球規模の問題に立ち向かうための国際協力の必要性)

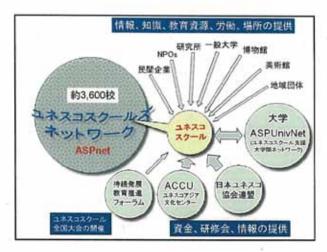
環境教育

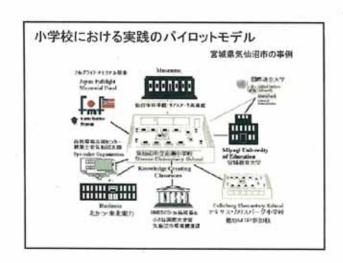
(河景、エネルギー。森林保護、海洋および大気に関する研究、土壌侵食、天 然資源保護、砂漠化、温室効果、持続可能な開発など直面する環境問題の 解決と科学の将来に果たす投献)

その他

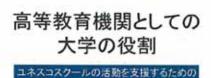
(世界通産教育などユネスコの理念に沿ったものも含まれる。)











大学のネットワーク





プログラムの概要のとりまとめと英文化

〇 申請のための協働:

Win-Winの関係

I Mysel University Of Education 外国の学校との交流
アジア地域にもモデルプログラムの可能性?
世界のユネスコスクールでは
世界/地域の10の "flagship projects"

☆ World Heritage Education ☆ Baltic Sea Project
☆ Western Mediterranean Soa ☆ Sandwatch Project
☆ Great Volga River Route ☆ Blue Danube River
☆ Water Education in Arab States ☆ Mondialogo School Contest
☆ GigaPan Dialogue ☆ Transatlantic Slave Trade

アジアのモデルプロジェクト&国内の学校間の交流テーマ ELT

「おこめRice」

米はアジアを中心に世界中にあり、多様な文化を支えている。 和の環境調応力:ヒマラヤやフィリピンの棚田、アフリカの浮籍 地域経済を支え、人を結びつけている: 都市を支える農村 日本人の米作りへの貢献

学校での学習上の長所

- 1. 体験学習ができる。
- 2. 子どもたちの興味・関心に応える。 さまざまなテーマを含んでいる。 3. 教科と連動しやすい。
- 4. ホームページと連動することで ICT時代を生きるために必要な力を培う

2009 NHKテレビ・ラジオ学校放送 : 学院5年 学報に30万度34月 日本前送出版

「おこめ」と学習タイトル(参考 NHKのおこめの萎縮)

おこめの一生、日本人とおこめ 世界のこめ作り、たんぽを作ろう 農薬を使わないこめ作り 農薬なしではやっていけない! たんぼのある風景 たくさんのおこめをとるために 冷害をのりこえて、楽しい収穫 日本のこめ料理 おにぎり アジアのこめ料理、世界のこめ料理 こめを食べよう、おこめとまつり 品種改良の道のり、安全な食料とは 現代のおこめ事情、私たちの食べものは? 都市の農家の風景、気候変動と稲作



ユネスコスクール支援大学関ネットワークが開催した 2010年ダブルネット推進ワークショップ

米作りと生物多様性

○マガンの里の「あったか」高校 ふゆみずたんぼ 宮城県田民さくら高等学校○校区内の過跡「日本で最も初期の水圧通模」 福岡県立武蔵台高等学校

○田んぼを通して学ぶ「生きるカ」 宮城県気仙沼市立水製小学校○食の向こうに見える世界 富山県富山市立中央小学校○中野小学校の籍作り 仙台市立中野小学校

米作りと食文化・食育

○生命を支える食 豊中市立上の小学校 ○気仙沼おむすびプロジェクト 南三陸町立伊里前小学校

米作りと伝統芸能

○秋保の田植え籍(ユネスコ無形文化遺産) ○はわご踊り: 豊作の数喜の踊り 石巻市立中津山第二小学校

今後の展開と期待

質の高い交流、ネットワーク

国内のユネスコスクール間の交流 外国のユネスコスクールとの交流



"交流によって互いの良さを認め合う"

高知県高知市 横内小学校農業応援隊 (教育ファーム、農林水産省轄会書より)

	PRODUCES - COLES - MODERNA . II PROMINICACION - CENTE PRINCEPCIANO . I CANO MELENGRADO - REMOTES, CANOSCOR MELENGRADO - SANCES - CANOSCOR MELENGRADO - CANOSCOR MELEN
e n	THE STATE OF THE S
11 11	ALEXTECTACES - REALISMENT STATE OF THE STATE
# H	SOURCE STREET TO CONTRACT OF SOUTH
# (#)	Controlectests-mented
2211	SENTELLED SILLED - PERSONNELLES SERVISIONES SANCTICUS SENTENCIONES

ご清聴ありがとうございました

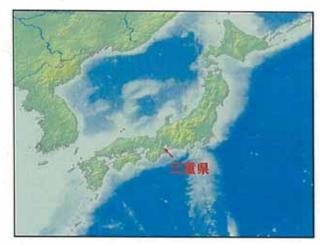


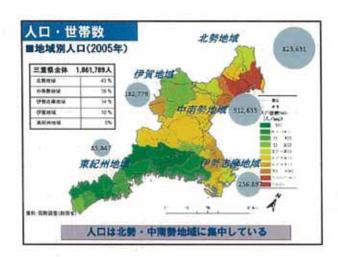
Myagi Linkstof

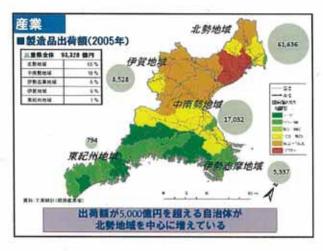
三重大学の 「ユネスコスクール活動」について

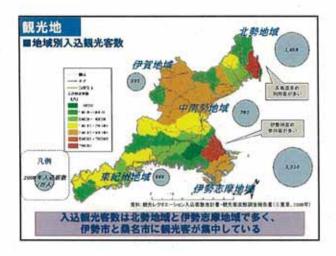
















四日市公害から学ぶ四日市学

- 周日市公吉訴訟判決(1972.7.24) ・企業の共同責任、共同不法行為の
- 認定 ・大気汚染と喘息などの非特異的間 塞性肺疾患の「夜学的因果間 係論」の認定

環境政策(総量規制)・最先端の環境

- 公害防止条例の改正(1971年)全国初の総量規制公布(1972年)-環境技術
- ・四日市イニシアチブ
- (1) 法制度の整備 (2) 環境政策 (3) 環境技術

- (4) 企業の環境倫理・社会的責任(CSR) (5) 環境ビジネス (6) 地域住民の連携・参詣

- 市民ガバナンス
- ・持続可能な社会構築・座学官民の協働型地域づくり(7)人財養成

- (ノ)人財養派 ・持統免度教育(ESD) ・実践的環境教育のツール(四日市学) → 三重大学共通教育(2004~現在) 約1,500名が受講(毎年新入生の1/4) (8) 認識共同体の構築
- 各セクターとのネットワー国際環境協力(アジア)



































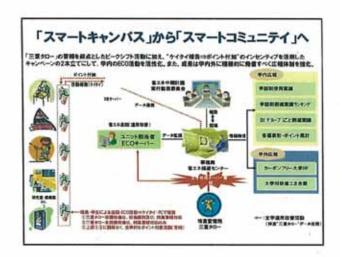


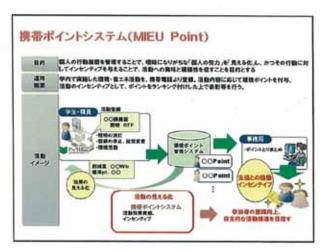


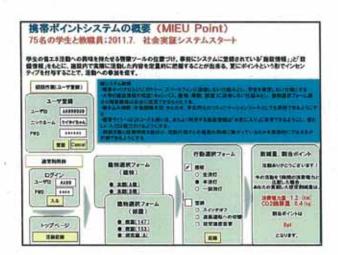








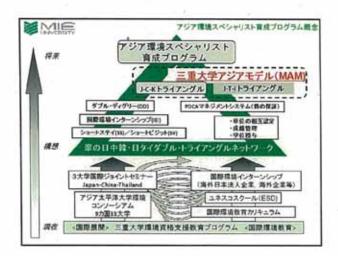


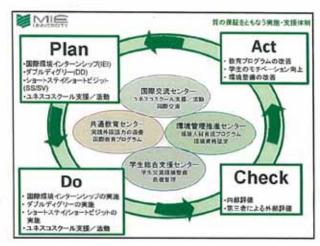




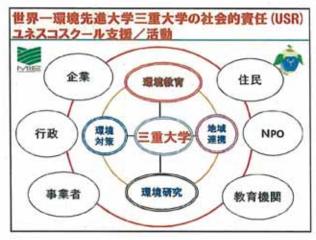


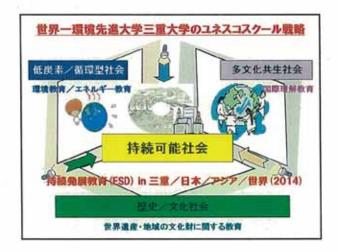




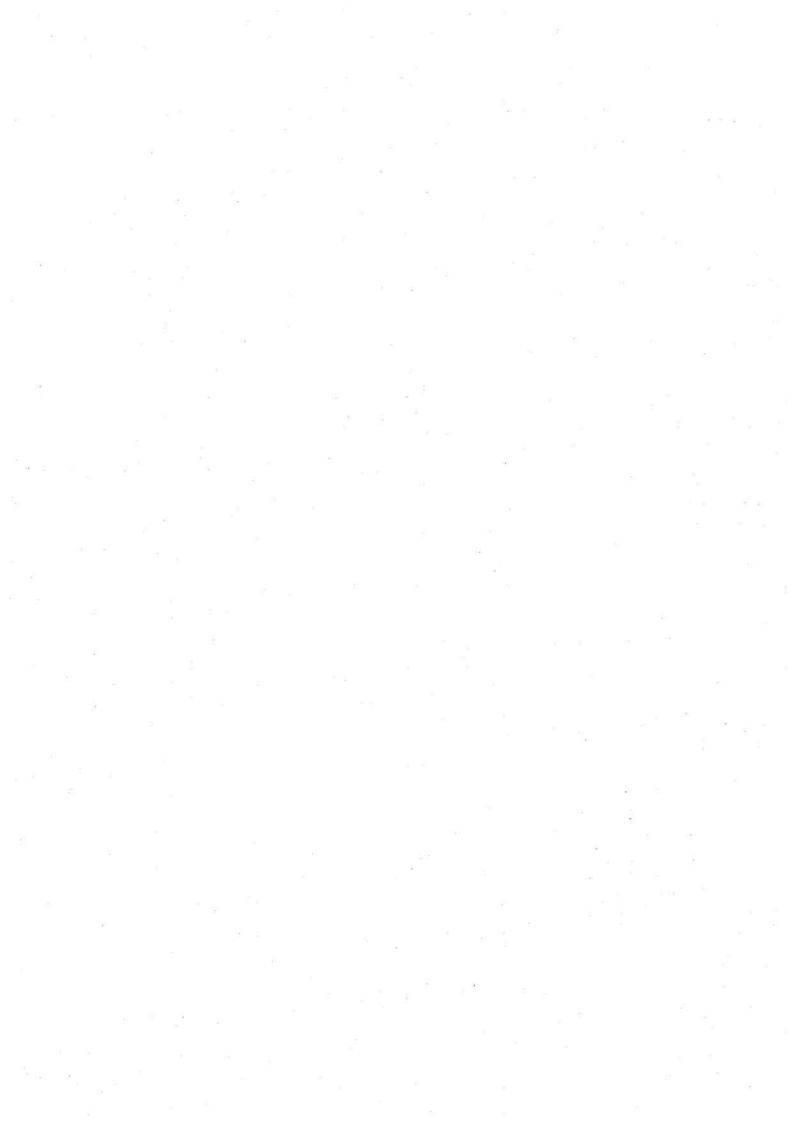






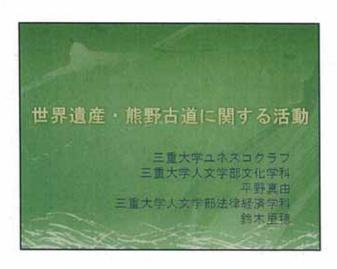






三重大学ユネスコスクール 学生委員会活動報告





















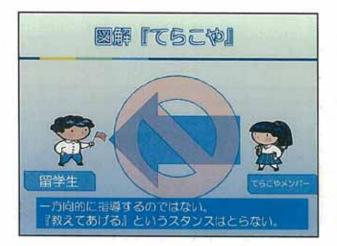
日本語学習サポートサークル「てらこゆ」

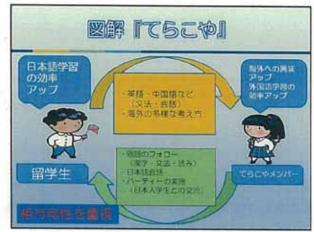
顧問:福岡昌子先生(国際交流センター教授)

発表者:桃井(人文学部4年) 塩地(医学部5年)

「てらこや」の主要活動

- ■サポートを希望される留学生1人に対し、 メンバー1名~2名を割り当て、一週間 に1~2回、授業の空き時間を利用して、 留学生といっしょに勉強します。
- 1週間に1度、留学生を交えてのランチ タイムを実施しています。
- ■不定期にパーティーや交流会を実施し、 留学生と日本人学生の交流を推進しています。





令子屋の活動臭給

- ■留学生への学習支援
- サマースクール・冬期日本語集中講座の サボーター
- ■プラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人 への学習支援
- 留学生の歓迎・送迎パーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

寺子屋の活動実績

- ■留学生への学習支援
- サマースクール・冬期日本語集中講座の サボーター
- ■プラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- 留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎バーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

等子屋の焙煎宴組

- ■留学生への学習支援
- ■サマースクール・冬期日本語集中講座のサポーター
- ■プラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎バーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

サマースクール・冬期日本語集中 影座のサポーター

- □ティーチング・アシスタント
- □ 日本語による研究発表支援
- ■日本語でディスカッション
- 交流活動





寺子屋の居動痕織

- ■留学生への学習支援
- ■サマースクール・冬期日本語集中講座 のサポーター
- □ブラジル人学校児童への日本語・教科支援
- 外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎バーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- □留学生との三重大学祭への参加

プラジル人学物児宣への 日本語。劉科支援

- 算数・漢字の 学習支援
- ■日本語の支援





寺子屋の活動寒牆

- ■留学生への学習支援
- ■サマースクール・冬期日本語集中講座 のサボーター
- ■ブラジル人学校児童への日本語・教科支援
- 外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人
- ■留学生の歓迎・送迎パーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

外国語言被生への 日本語。極對支援

平成23年度 日本/ユネスコパートナーシップ事業

- 三重県立飯野高校に通う外国籍高校生を対象 2011年6月~2012年2月
 - 第1・第3土曜日
- ①生徒が持ってきた宿題や四頭隼のわからない
- ところを個人指導。 2勉強方法のアドバイス
- ③進路相談なども行う。



令子屋の活動実績

- ■留学生への学習支援
- サマースクール・冬期日本語集中講座 のサポーター
- ■ブラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎バーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

智学生の母語による、日本在住の 外国人への学習支援

□留学生にご協力頂き、

鈴鹿市(桜島小学校)松阪市(第2隣保館)を訪問し外国籍児童の学習支援を 行った。

- ①留学生の母語による学習・宿題の支援
- ②留学生による自国の紹介
- ③自分の研究内容の紹介
- 4国の遊びの紹介



等子屋の活動窠織

- ■留学生への学習支援
- サマースクール・冬期日本語集中講座 のサポーター
- ■ブラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- □ 留学生の歓迎・送迎/バーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- □留学生との三重大学祭への参加

寺子屋の活動譲渡

- □留学生への学習支援
- サマースクール・冬期日本語集中講座 のサボーター
- ■プラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎パーティー
- □留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加

警学生との研修旅行の企画

- □三重大学国際交流事業に応募
- ■留学生と2泊3日の京都研修を実施



寺子屋の活動実績

- ■留学生への学習支援
- ■サマースクール・冬期日本語集中講座 のサホーター
- ■プラジル人学校児童への日本語・教科支援
- ■外国籍高校生への日本語・教科支援
- ■留学生の母語による、日本在住の外国人 への学習支援
- ■留学生の歓迎・送迎パーティー
- ■留学生との研修旅行の企画
- ■留学生との三重大学祭への参加



三重大学教育学部 須曽野研究室 アジアにおける未来遺産デジタルストーリーテリングプロジェクト

アジアにおける未来遺産デジタルストー リーテリングプロジェクト

未来に伝えたいものをデジタルストーリー (紙芝居)で作り、アジアの子ども・学生をつなぐ

-

三重大学教育学部附属教育実践総合センター 須曽野研究室

須曽野 仁志 王 雅儒 劉 蒂

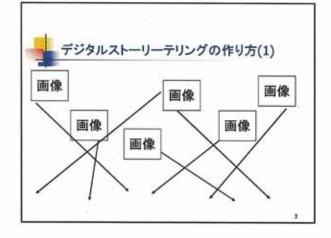
連絡先

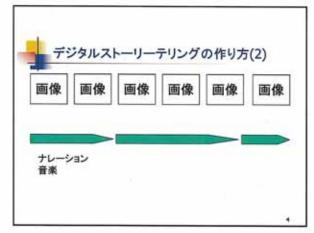
susono@edu.mie-u.ac.jp

What is デジタルストーリーテリング? (Digital Storytelling, 略DST)

- 静止画(写真、絵、デジカメ画像)を、 ナレーション(語り)でつなげる
- 2~4分程度の短いストーリー
- パソコンにプリインストールされた動画編集ソフト(Windows ムービーメーカー、iMovieなど)で編集

- 2





-

生活の中の「未来遺産」

私たちが日々生活していく中で、未来を生きる 人たちに受け継いでいきたいと思うもの

- 人々が長い歴史の中で紡ぎ続けてきた文化遺産
- 美しい風景や癒しを感じる自然遺産
- 人々が生活・学習の中で、ともに生きる知恵や工夫など、人的な遺産



本プロジェクトでのとり組み

- 1)「未来遺産」をテーマとした大学生によるデジタルストーリー制作
- デジタルストーリーテリング「未来遺産」制作方法紹介ビデオ作成
- デジタルストーリーテリング制作方法紹介ビデオの韓国語・中国語字幕付け
- 4) アジアでの「未来遺産」デジタルストーリーテリ ング紹介、制作準備
- 5)「未来遺産」をテーマとした小・中・高校生によるデジタルストーリー制作支援



- 1) 「未来遺産」をテーマとした大学生によるデジタルストーリー制作
- 2010年12月~1月、2011年12月~1 月
- 教育学部授業「メディアリテラシーと情報表現 II」(月34限)で



未来遺産」をテーマとした大学生 によるデジタルストーリー制作(昨年 度)

- 2010年12月~1月
- 教育学部授業「メディアリテラシーと情報表現 II 」(月34限)で2作品DST
- DST テーマの一つ「未来に残した いもの」
- 授業参加学生25名
 - 含 天津師範大学からのダブルデグリー学生 13名





大学生 デジタルストーリー 「未来遺産」 作品例

10



2) デジタルストーリーテリング「未来遺産」制作方法紹介ビデオ制作

- これを見れば、デジタルストーリーテリング「未来遺産」が作れる
- ■ビデオ時間 約40分
- ■出演者
 - 須曽野仁志、井川朋香(元大学院生)、
 鏡 愛(元大学院生)、王雅儒(大学院生)、
 劉蒂(大学院生)



デジタルストーリーテリング「未来遺産」制作方法紹介ビデオ作成

- Web上で視聴可能
- ■テーマを「未来遺産」に
- 約40分程度
- DSTの作り方やポイントがわかる
- ニュース番組風、2人のニュースキャスター

1

三重大学教育学部 須曽野研究室 アジアにおける未来遺産デジタルストーリーテリングプロジェクト





3) デジタルストーリーテリング制作 方法紹介ビデオの韓国語・中国語 字幕付け

- デジタルストーリーテリングを東アジア へ広める
- 東アジアには、世界に誇れる数多くの 「未来遺産」
 - 歴史遺産
 - ■自然遺産

15

デジタルストーリーテリング制作方 法紹介ビデオの韓国語・中国語字 幕付け

- キャスターの説明を中国語、韓国語 に
- 中国語、韓国語の字幕を付ける
 - 中国語字幕担当 王雅儒、劉蒂
 - 韓国語字幕担当 韓国人留学生(学部生)





4)アジアでの「未来遺産」デジタルストーリーテリング紹介、制作準備

- 2010年~2011年 韓国出張3回
- 清州(チョンジュ)にある韓国国立教 員大学校(大学)での大学院生対象 授業
- 梨花女子大学教員・学生との交流
- 三重大学に留学生していた韓国人学生(梨花女子大学校、東国大学校)と 打ち合わせ

18





夢は、東アジアに

- 초중학생·대학생을 위한 미래유산 Digital Storytelling
- 为了中小学生·大学生的未来遗产 数字故事
- 小中学生(子ども)・大学のための未 来遺産 DST



5)「未来遺産」をテーマとした小・中 ・高校生によるデジタルストーリー 制作支援

- 小・中学生のための制作方法紹介ビデオ制作(今年度中)
- 小・中学生のためのデジタルストーリーテリング用マニュアル(今年度中)
- 学校現場におけるデジタルストーリー テリング制作支援



デジタルストーリーテリングはデジタ ルだが、アナログ性がいっぱい!

- 制作者が自分の声(ナレーション)で語る
- 写真、デジカメ画像、自分で描いた絵等をつなげて作る
 - 昔の古い写真も使える
- プロではなく、素人(アマ)が作る
- 誰もが、自分自身のストーリーを表現できる

21



とり組みのまとめ

- ■未来遺産は様々
 - 特に大学生は、友達、学生生活、旅行
- 留学生の発信型日本語学習に使える
- 韓国、中国、台湾、インドネシアなど へ、デジタルストーリーテリング「未来 遺産」をもっと広めたい



ありがとう 감사합니다

謝謝

Thank you Muchas Gracias Merci beaucoup

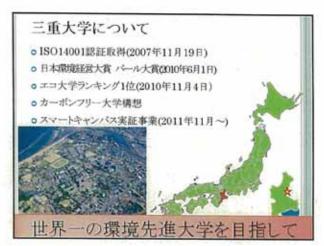
> Future Storyteller --



須曽野 仁志 Hitoshi Susono susono@edu.mie-u.ac.jp



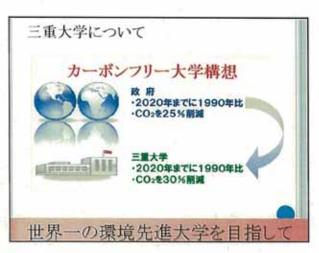






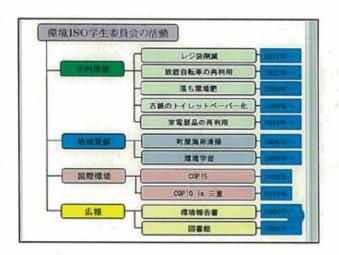


































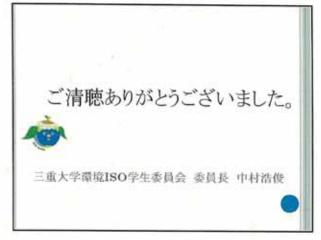


















北陸地区 事例報告

戸板小学校における ユネスコスクールの取組



2011, 12, 10 金沢市立戸板小学校 校長 中川 隆博



ユネスコスクールとESDの導入時

- 2008年12月 学校指導課より募集 → 申請へ向けて
- 2009年12月 ユネスコスクール実践交流会 主催: 金沢大学国際交流センター
- 2009年 3月 申請書作成 日本語版、英語版
- 2009年 4月「金沢に学び世界に発信する 持続発展教育(ESD)について」 スタート・イレブン(11校)
- 〇 2009年 8月 校内研修会:校内実践交流会 講師 金沢大学フロンティアサイエンス機構 特任教授 鈴木 克德

持続発展教育(ESD)について

【目標】

- ○持続可能な発展のために求められる原則、価値観及び 行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれること
- ○すべての人が質の高い教育の恩恵を享受すること
- 〇環境、経済、社会の面において持続可能な将来が 実現できるような価値観と行動の変革をもたらすこと

持続発展教育(ESD)について

【基本的な考え方】

- OESDは、持続可能な社会づくりの担い手づくり
 - 口人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの 人間性を育むこと
 - □他人との関係性、社会との関係性、自然環境との 関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重で きる個人を育むこと
- ○環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に 関わる諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、 環境、経済、社会の各側面から学際的かつ総合的 に扱うことが重要

戸板小学校のESD(持続発展教育)の実施に向けて

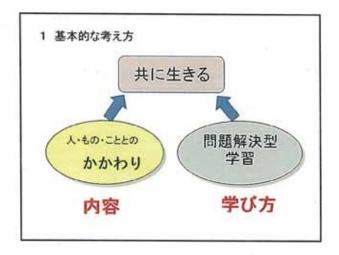
ESD実施の観点

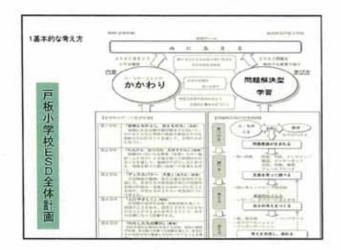
- ○人格の発達や、自律心、判断力、責任態などの人間 性を育むこと
- 〇他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関 係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を 育むこと
- ESDの育みたいカ
- ○体系的な思考力
- ○持続可能な発展に関する価値観
- ○代替案の思考力
- ○情報収集·分析能力
- 〇コミュニケーション能力

文型科学名「基本的な考え方、育みたいカ」

戸板小学校の実践

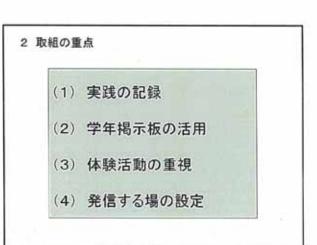
- 1 基本的な考え方
- 2 取組の重点
- 3 取組の内容
- 4 児童の変容
- 5 今後の課題

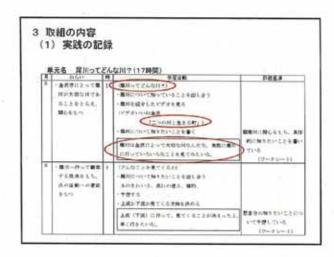




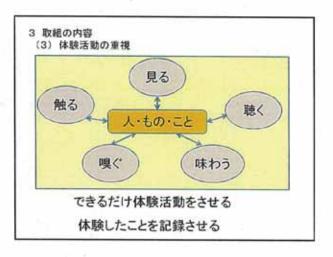












繰り返し体験できる地域を学習素材に 学年「単元名」 【領域】:主な活動場所 1年「しぜんとなかよし おともだち」【自然】:学校や地域の公園 2年「たいけん はっけん だいぼうけん」【地域】:校区中心の地域 3年「ディスカパリー大豆」【食文化・地域】:地域の加工工場 4年「人にやさしく」【福祉】:地域の保育園 5年「わたしたちの犀川」【環境】:校区に流れる川 6年「外国の方と交流しよう そして考えよう」【国際理解】金沢市内

体験活動は一過性のものにはならないこと

3 取組の内容

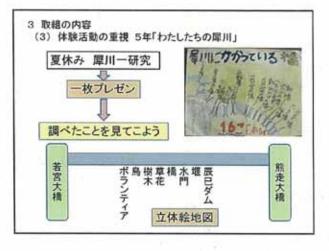
(3) 体験活動の重視





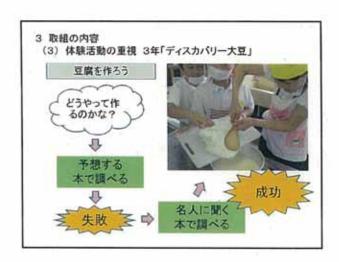






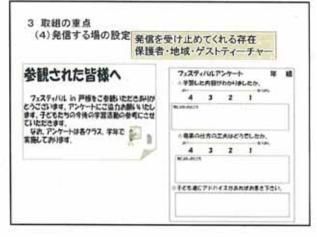








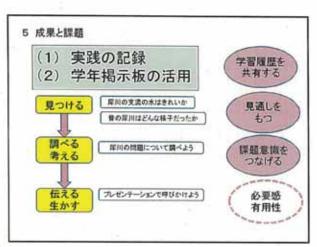


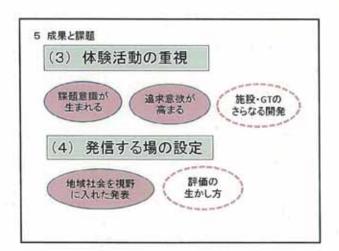


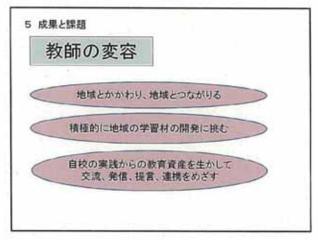


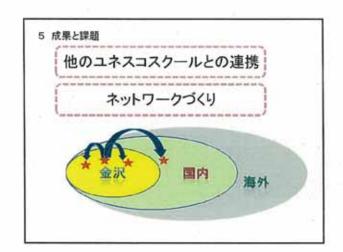














鈴鹿市におけるユネスコスクールの活動について 鈴鹿市教育委員会事務局指導課 鈴木英文

1 本市の現状と	ユネス:	コスクー	ル加盟	の経緯
----------	------	------	-----	-----

- 2 市内5校の取り組みの概要
- (1) 飯野小学校
- (2) 神戸小学校
- (3) 牧田小学校
- (4) 鼓ヶ浦中学校
- (5) 神戸中学校
- 3 課題

ユネスコスクールに参加するに当たって

年間を通した取り組みと意識の定着

つながりあう個

を目指して

三重大学教育学部附属中学校 教師 前田 豊美

自分以外の誰かのために、 がんばる喜びを 感じてほしい

生徒会が取り組む学校生活の中での活動

- ・あいさつ運動
- ・1円玉募金、ペットボトルキャップの回収
- ・古切手や書き損じハガキの回収



執行部と代議委員で取り組まれているあいさつ運動



・ユネスコや赤十字を通じての活動

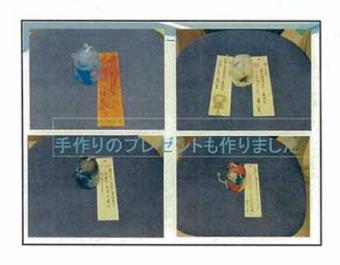


生徒の発案で取り組まれた東日本大震災 への募金活動、1円玉募金



三重大学との連携事業 『天津市実験中学校』 との国際交流

















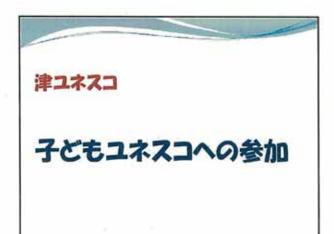
- ·今年度(2011)12月20日~24日 訪中予定
- ·参加者:生徒4名(公募) 教職員5名
- 実験中学校が開催する交流授業に 参加予定

























ユネスコスクールへの 参加を通して

プロジェクトの実施計画

- 1.3年間を通じた国際交流の実施
 - ・天津市実験中学校との交流の工夫
 - ・生徒会・活動部を通してメール交換
 - ・使用済み切手や書き損じハガキの収集に積極的に参加

世界の子ども連の医療援助活動に役立つ取り組みや 親子国際交流に参加する

- ・世界遺産を守る運動を通して、自国の文化や世界の文化に触れる
- 先達から受け継いだ文化を大切にする
- ・英会話に力を入れ、他国籍の人たちと積極的にコミュニケーションをとる

2. 人権学習

・4人グループの授業方法の維続



質のよい授業・環境を作る

- ・充実した体験学習の経験
- ・ユネスコ教材を取り入れた学習『すべてに学びの場を訓ア フガニスタン「平和へのみちのり」』や講師の招聘

研修を増やし、教師の力量をあげる

3. 環境問題

・ESD教材等も使用



『自分たちが何ができるか』を考え、 行動にうつす



・自主的な学習ができる

教師と生徒の共有 生徒と生徒の共有 教師と教師の共有



誰かのために役に立てる自分を見つける



つながりあう喜びを感じることができる

以上です

ご静聴ありがとうございました

2011.12.10

